

ライフケアガーデン熱川

看護課（本館）

功 績 重篤な腎疾患を思いながらも、治療を拒否する体験入居の利用者さんに対して、看護を中心として、介護、ご家族、事務員とチームプレイで対応し、その理由を聞き出し、払拭することで生きる希望を芽生えさせ、入居に繋げた功績。

推 薦 者 入澤友美（事務課チーフ）

推 薦 理 由 お会いして間もないご利用者から、誰にも言わず、そして言えずにいた治療拒否に関する「真の理由」を短期間で聞き出し、払拭し、さらに生きる希望を提示できた看護を中心としたこのチームプレイは、まさに理事長の掲げるMVVを体現し、利用者さんのみならず、ご家族・関係各位への「親身な対応」が結実して成された結果です。ゆえに理事長賞に推薦致します。

内 容

入居案件には時に緊急性を伴い、予想外の対応を迫られる場合もございます。

今回のケースも、当時居宅ケアマネより相談があった段階では、あくまで「体験入居」としてご利用を開始したのですが、あまりにも体調が悪そうで、しかも独居。なるべく早く提携医療機関（熱川温泉病院）で受診できるよう、即日で受診の手配を完了させました。その結果、透析治療を行わなければ余命一年以内と判明するが、なぜかご本人は治療を拒否。看護課は、なぜ治療を拒否するのか、その胸の内の「真の理由」を根気よく聴き続けました。そして、本当はもっと生きていきたい。しかし透析治療を受けるには一人では通えないし、他人に、何よりご家族に迷惑をかけたくないという理由が分かりました。

これを受け、治療・透析への全面的サポートを約束し、不安解消のため、遠方に住むご家族とも連絡を取り合い、説得してもらおうようお願いして、看護を中心とした、介護、ご家族、事務員のチームプレイで対応にあたりました。

最終的にご本人も納得し、治療することが決定。それと同時に体験入居から入居契約に切り替わりました。ご本人は第二の人生（定年後～余命宣告日まで）で終わる予定だったが、皆さんのおかげで元気になったので、これからの人生は第三の人生（透析開始～寿命まで）と思って楽しく生活していきたい、と仰っています。ご家族も父親がとても安心して前向きに生活していることへの驚きと共に、こんなに良くしてくれる施設は他にはないと、大変感謝して下さっています。また、元気になったご本人は、今では当施設での楽しい生活をご友人、親類等にメールやブログで伝え、「ここの施設は本当にすばらしい!」と入居を勧める宣伝活動までされ、車椅子無しでも生活できるレベルになりました。この看護課がチームの主要的役割を担って行なった各方面への一連の「親身な対応」は、まさに「ご利用者には輝きの一日を」「ご家族には安心を超えた感動を」「紹介元には満足を」「職員（介護、事務）にはやりがいを」が実行でき、寄り添いによって、利用者さんが諦めかけていた第三の人生に繋がったきっかけとなる症例となります。